



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

企業委員会の活動

はじめに

コロイド・界面化学は、化粧品、洗剤、食品、医薬品、電池・エレクトロニクスなど私たちの生活や産業を支える幅広い分野に深く関わっており、微粒子の分散・凝集、乳化、泡、濡れ、吸着、界面での物質移動や機能発現を理解し制御することは、新たな価値の創出につながります。

こうした現象の解明と社会実装には、大学・公的研究機関と企業の連携が不可欠であり、基礎から応用まで幅広い研究が活発に進められています。

本部会には、企業所属の委員のみで構成される企業委員会があり、本稿では2つの特色ある活動を紹介します。

コロイド・界面技術者フォーラム

1つ目の活動は、「コロイド・界面技術者フォーラム」です。

本フォーラムは、企業で研究開発に携わる技術者・研究者を対象に、日々直面する様々な課題の解決に向けたアイデアや、新たな人的ネットワークを得る機会の提供を目的としています。

2021年以降は、オンライン開催へと刷新し、より多くの方に参加いただけるフォーラムとして運営しています。

講師には、第一線で活躍している企業研究者をお招きし、企業におけるコロイド・界面化学の応用研究についてご講演いただいています。また、関連分野に精



前回開催の様子（2025年11月）

通したアカデミアの先生方にもご登壇いただき、基礎研究の観点から最新の知見をご紹介いただいています。

講演後には、本フォーラムの特徴でもある少人数制のグループディスカッションを実施しており、講師1名に対して参加者5名程度を割り当て、15分程度のディスカッションをローテーション形式で行い、講師と参加者、参加者同士が直接意見交換できる場を設けています。

2026年は、12月上旬のオンライン開催に向けて準備を進めています。オンライン開催でありながらも、参加者間の交流がより一層深まるよう、内容の充実を図ってまいります。

社会貢献活動への取り組み

2つ目の活動は、企業委員会の社会貢献活動についてです。

当委員会では、例年9月頃に開催される「コロイドおよび界面化学討論会」に合わせ、開催地の小学生を対象とした市民講座「本物の科学教室」を開催してきました。身近な洗剤や化粧品を題材に、講義と実験を通じて、科学の面白さや社会における有用性を肌で感じ取ってもら

うことを目的としています。新型コロナウイルス感染症の影響により一時開催を見送ってきましたが、2024年には宮城県気仙沼市の小学校にて開催することができました。

2025年には、コロイド討論会の会期中に大学・大学院生を対象として企業研究を紹介するなど、キャリア形成支援に取り組むとともに、翌年の市民講座開催に向けた検討を行いました。

その検討を踏まえ、本年はOKINAWA COLLOIDS 2026の開催に合わせて、沖縄県名護市にて市民講座を予定しています。1人でも多くの小学生に科学の楽しさに触れてもらえるよう、企画内容の検討を重ねてまいります。

【担当企業】：味の素株式会社、花王株式会社、株式会社コーセー、株式会社資生堂、日光ケミカルズ株式会社、日本メナード化粧品株式会社、株式会社ファンケル、ポーラ化成工業株式会社、ライオン株式会社

その他の部会の行事

これまで述べた企業委員会の活動はウェブサイトに記載されています。また、その他の部会活動も同ウェブサイトに掲載されていますので、以下のURLをご参照下さい。

<https://colloid.csj.jp/>

【森垣篤典（ライオン株式会社）、
山田隆幸（日本メナード化粧品株式会社）】

© 2026 The Chemical Society of Japan